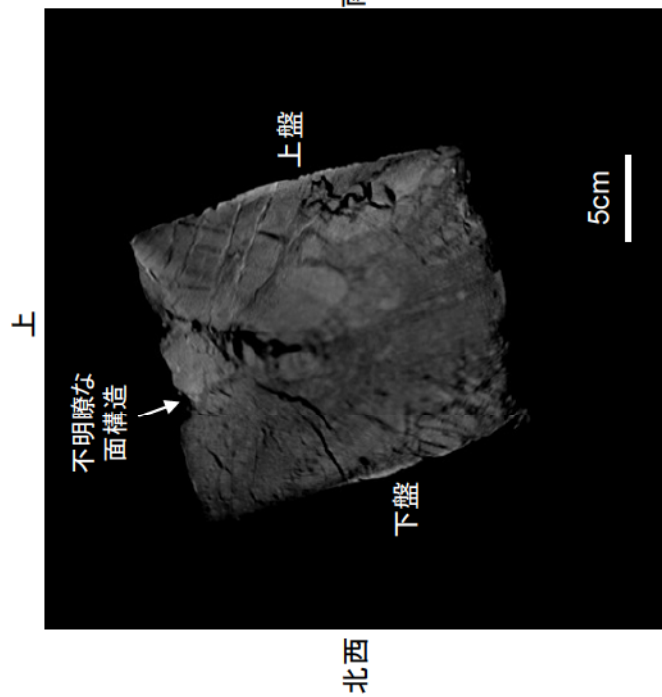
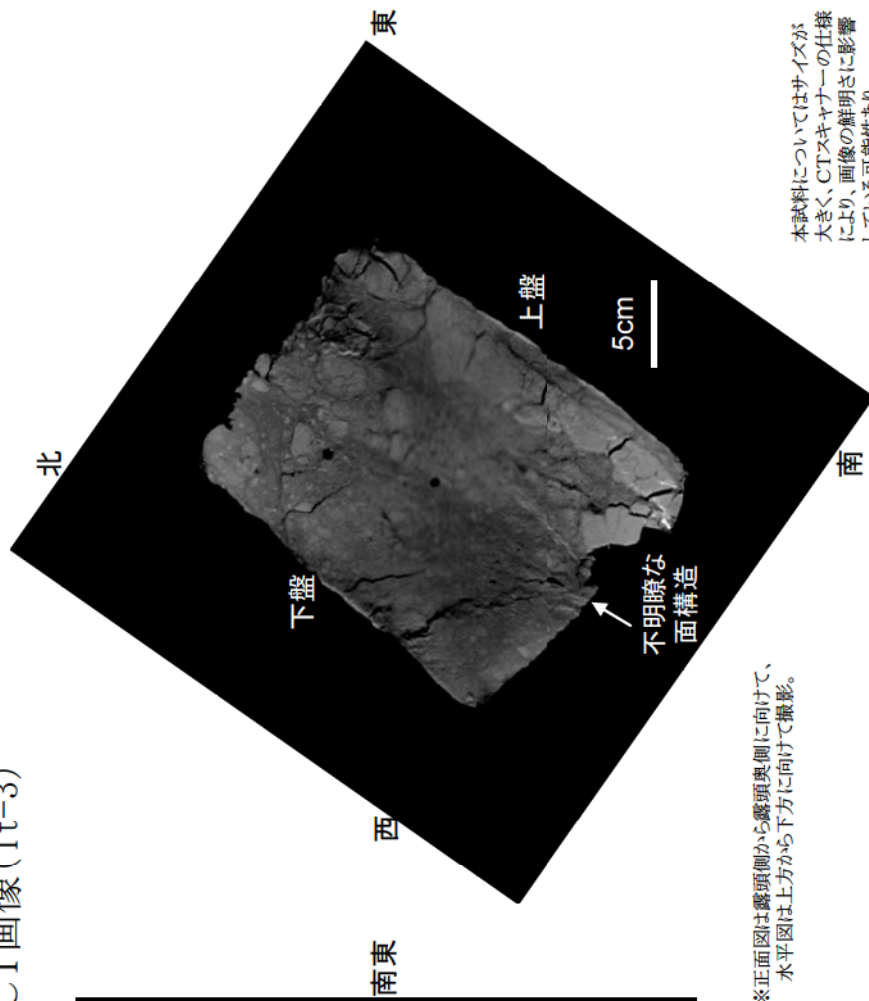


CT画像 (Tt-3)



下
正面図

※正面図は露頭側から露頭奥側に向けて、
水平図は上方から下方に向けて撮影。



水平図

本試料についてはサイズが
大きく、CTスキャナーの仕様
により、画像の鮮明さに影響
している可能性あり。

断層面の走向傾斜: TN29E/70E

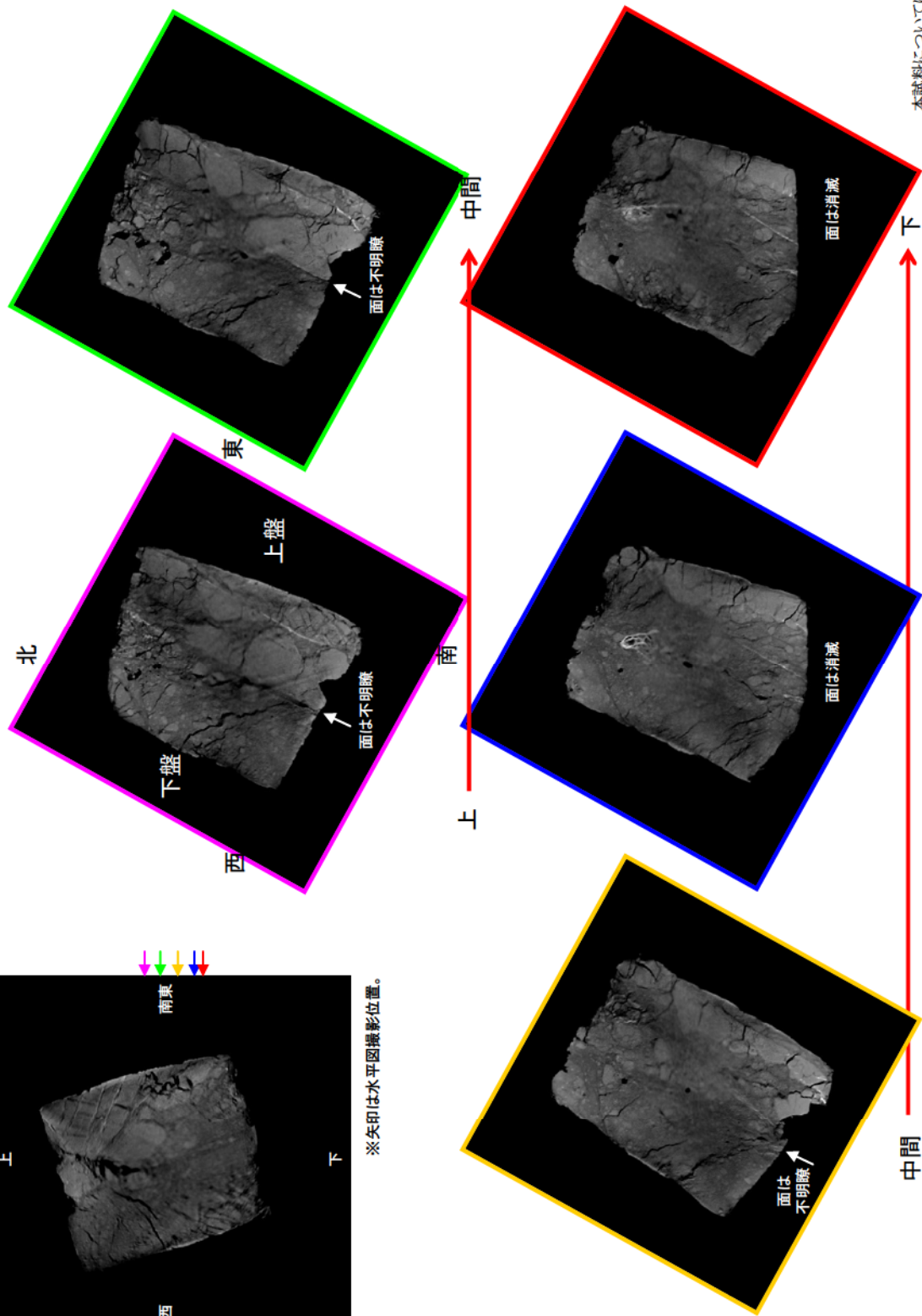
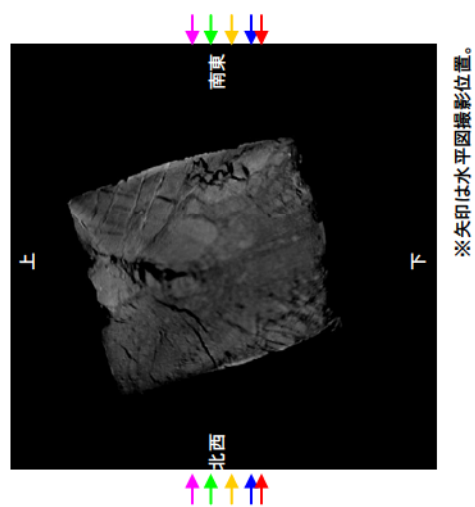
縦ずれ成分: 不明、横ずれ成分: 不明

ブロック中に連続した断層面は認められない。

一部で、不明瞭な面構造が認められる。

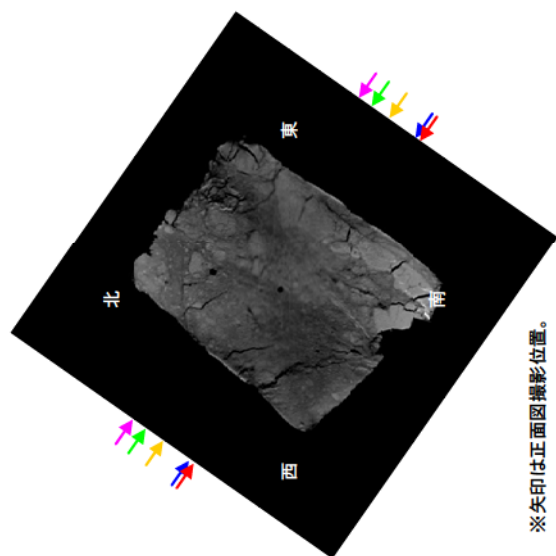
明瞭な密度変化は認められない。

CT画像 (Tt-3) 水平図

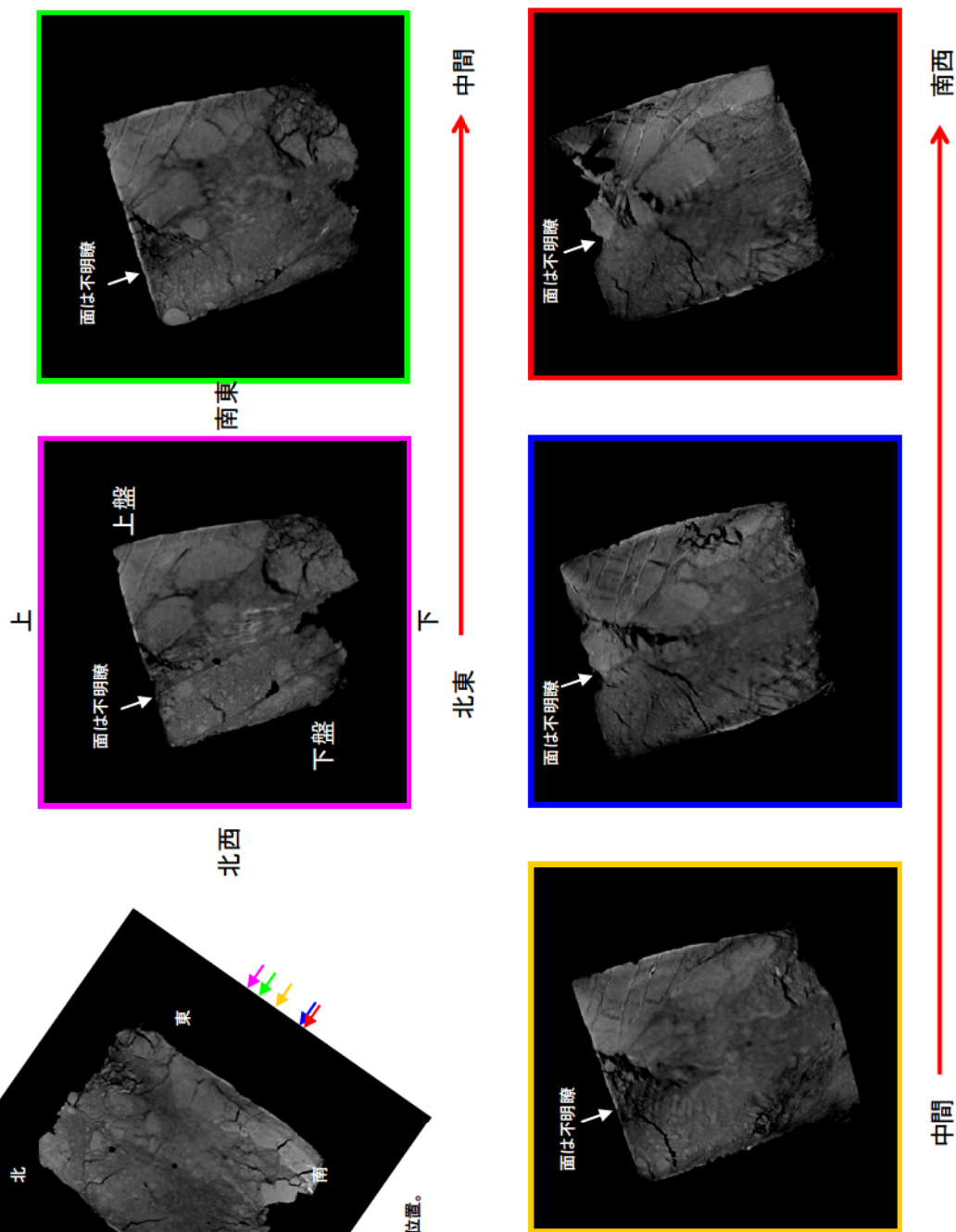


- 複合面構造は認められない。
- 面のような構造は認められるが、上下の断面では不明瞭で連続性に乏しい。

CT画像 (Tt-3) 正面図



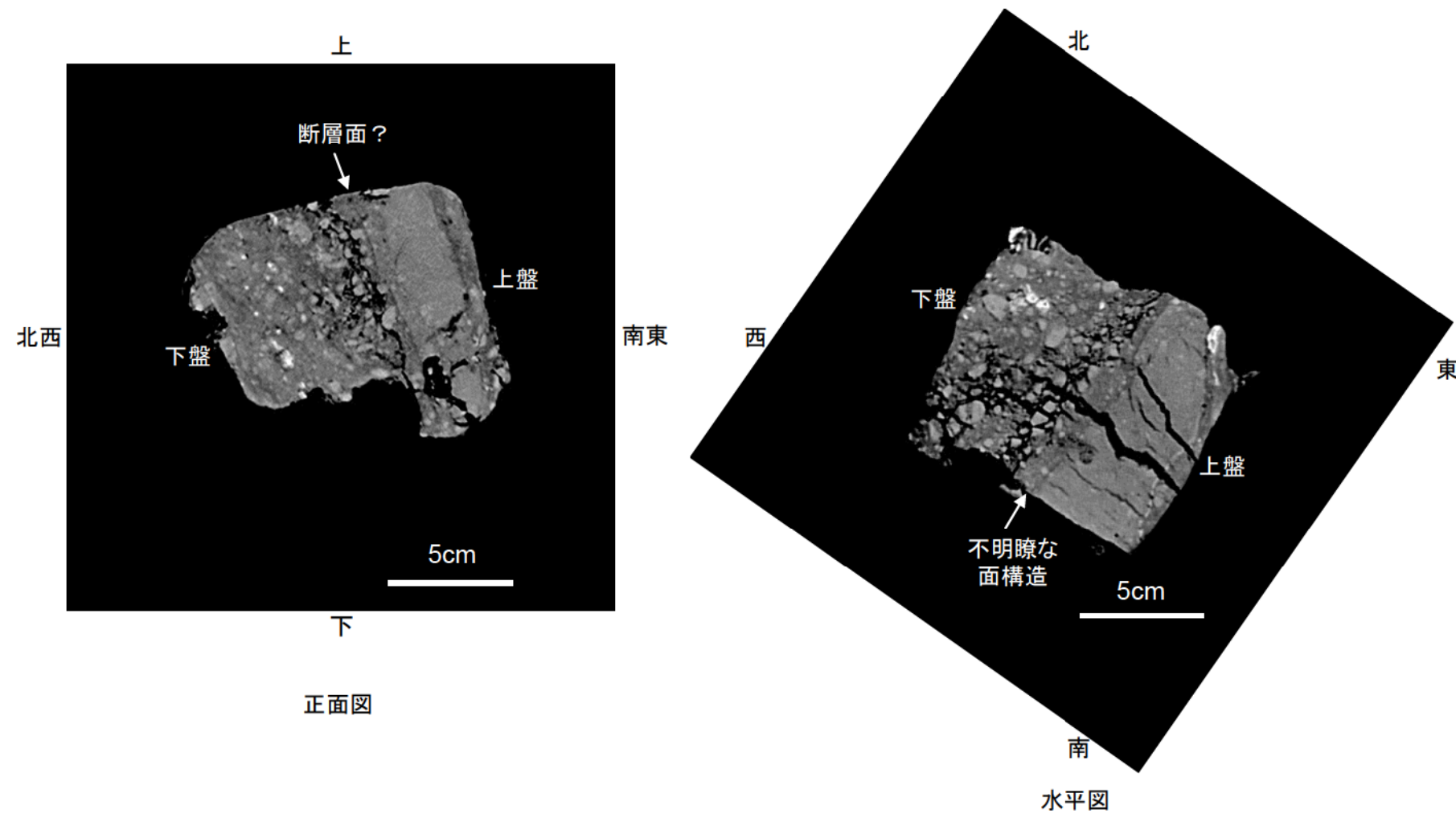
※矢印は正面図撮影位置。



本試料についてはサイズが大きく、CTスキャナーの仕様により、画像の鮮明さに影響している可能性あり。

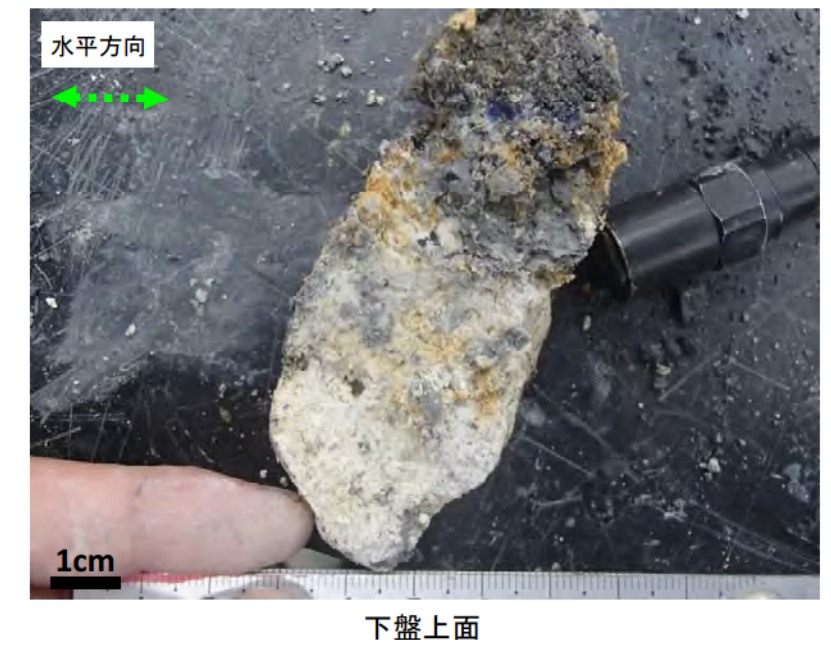
- 複合面構造は認められない。
- 面のような構造は認められるが、他の断面では不明瞭で連続性に乏しい。

CT画像 (Tt-3SL)



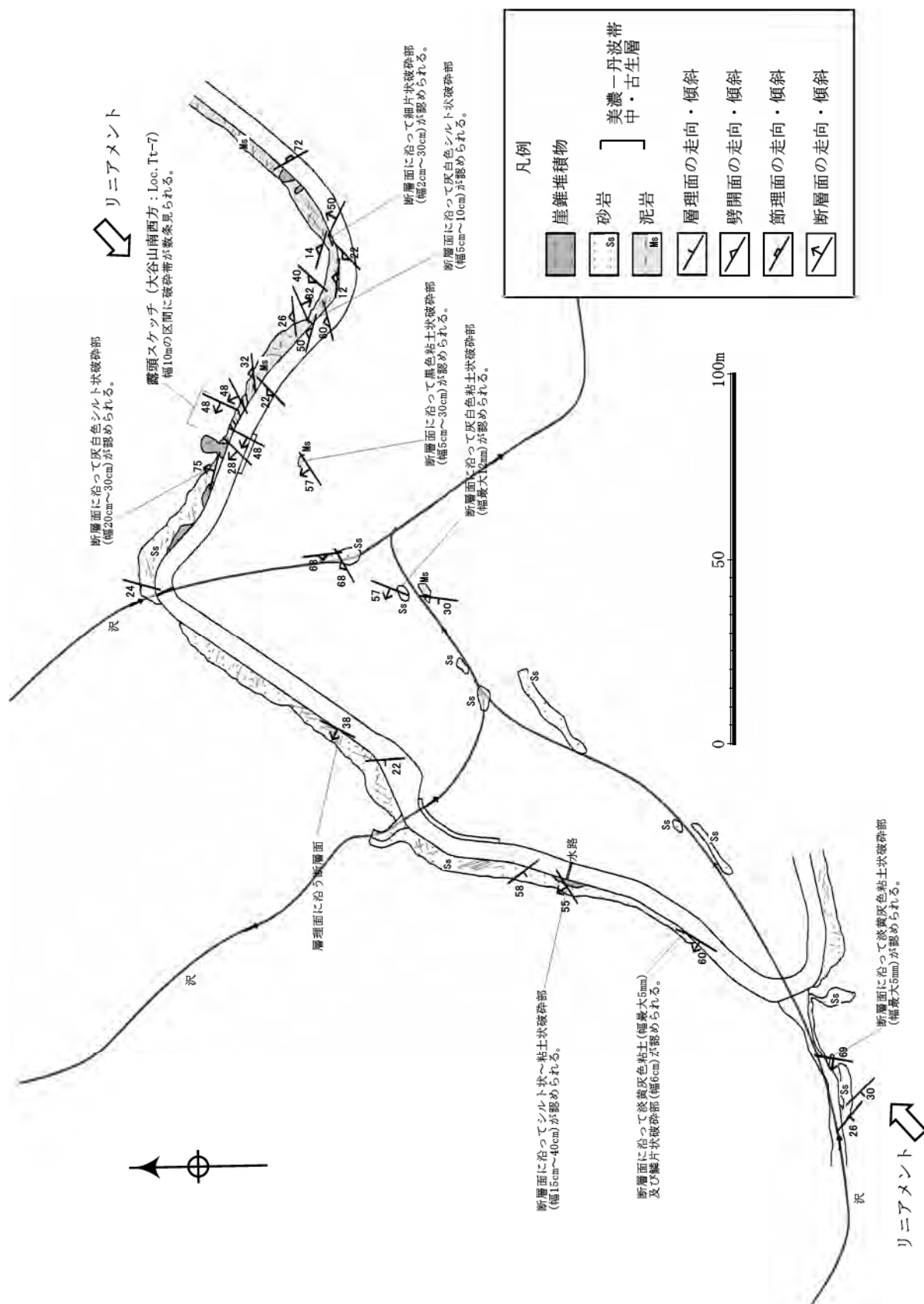
断層面の走向傾斜: N29E/70E
 縦ずれ成分: 不明、横ずれ成分: 不明
 ブロック中に連続した断層面は認められない。
 一部で、不明瞭な面構造が認められる。
 明瞭な密度変化は認められない。

条線観察 Tt-3SL



明瞭な条線は認められない。

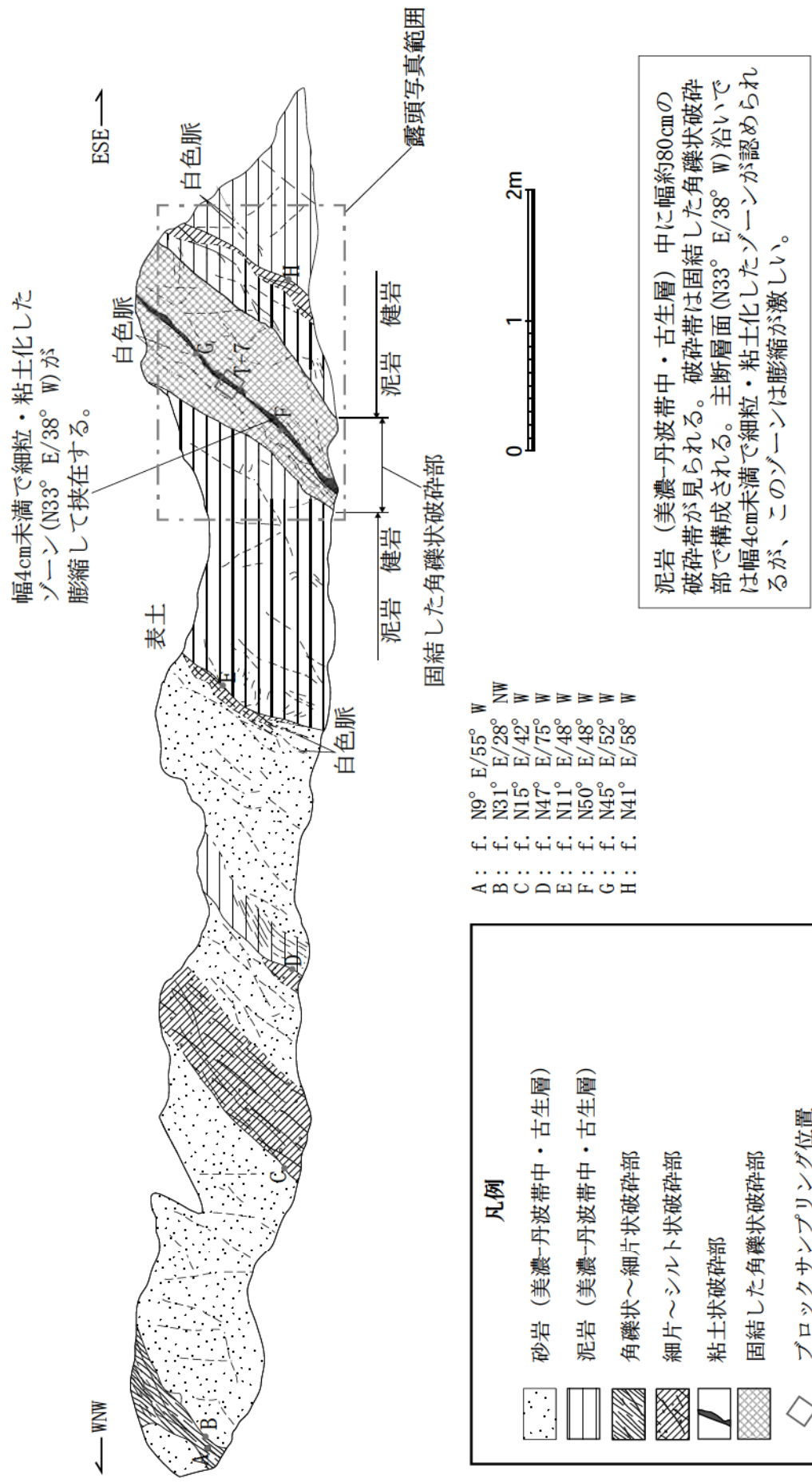
第 1. 3. 146 図 敦賀断層南端付近 赤坂山南西方の破碎部 ブロック試料の C T 画像観察結果及び条線観察結果 (Loc. Tt-3SL)



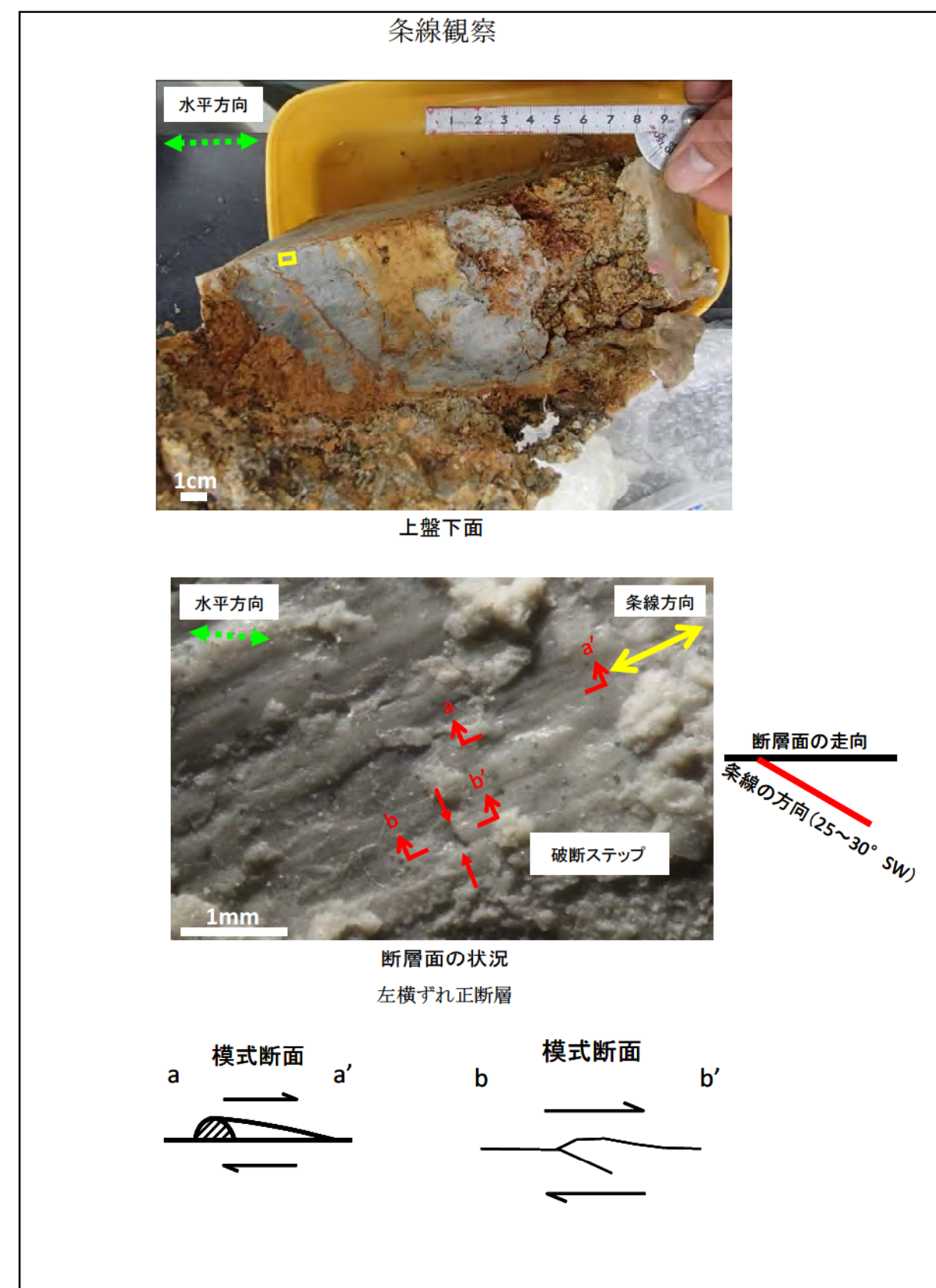
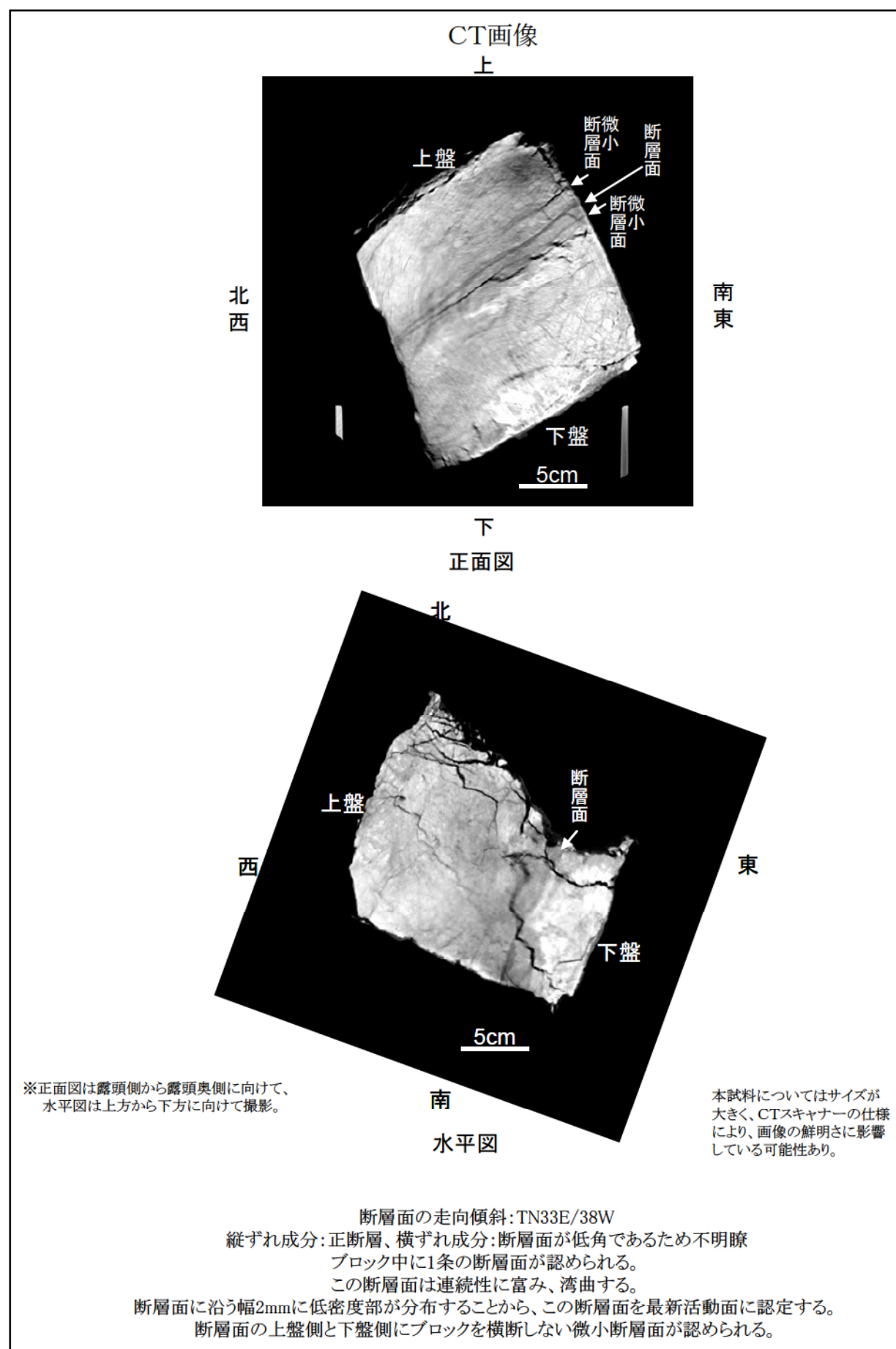


破砕帯の幅は約80cmである。
破砕帯は泥岩起源の固結した角礫状破砕部から構成される。
写真中央部に認められる主断層面沿いの泥岩起源の固結した角礫状破砕部はより細粒化し、やや粘土化している。この
細粒・粘土化したゾーンは膨縮が激しく、幅は約4cm未満である。

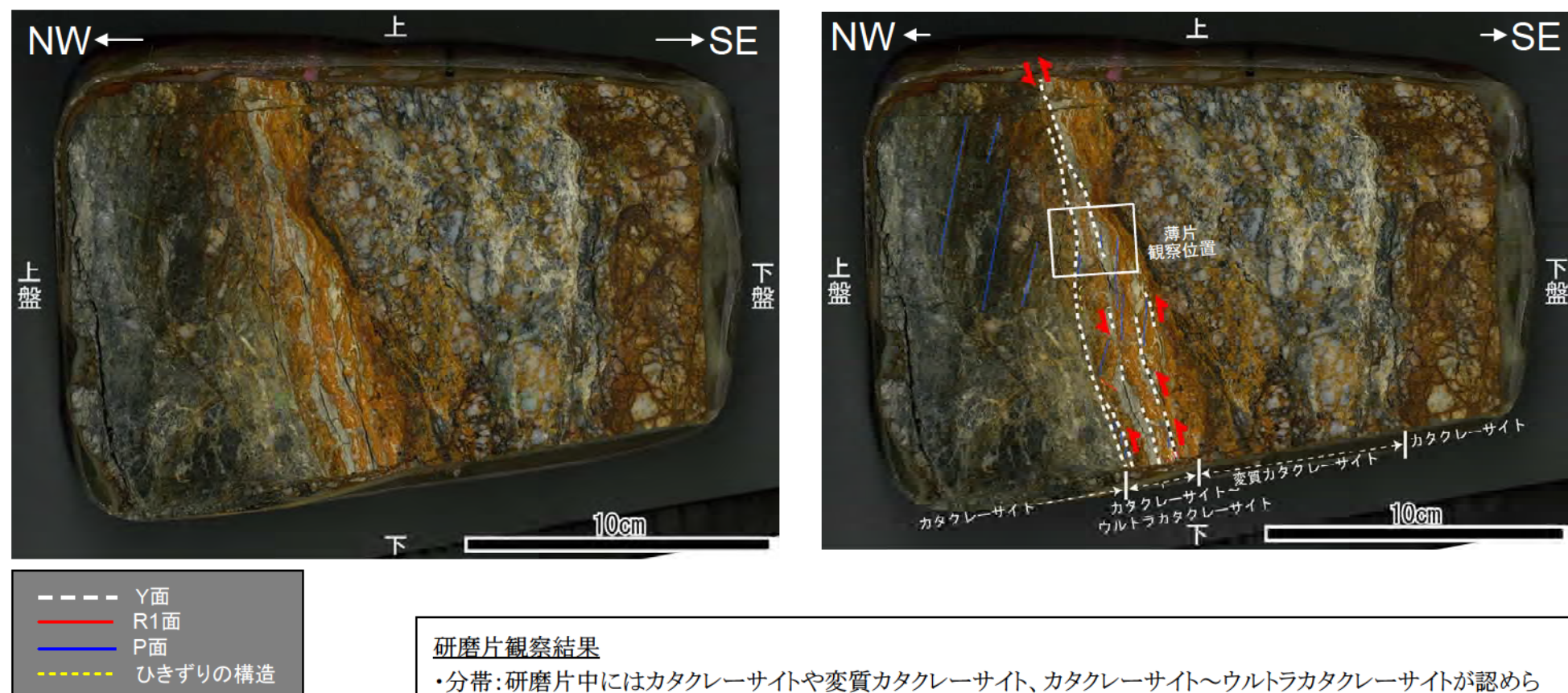
第 1.3.148 図 敦賀断層南端付近 大谷山南西方の露頭写真 (Loc. Tt-7)



第1.3.149図 敦賀断層南端付近 大谷山南西方の露頭スケッチ (Loc. Tt-7)

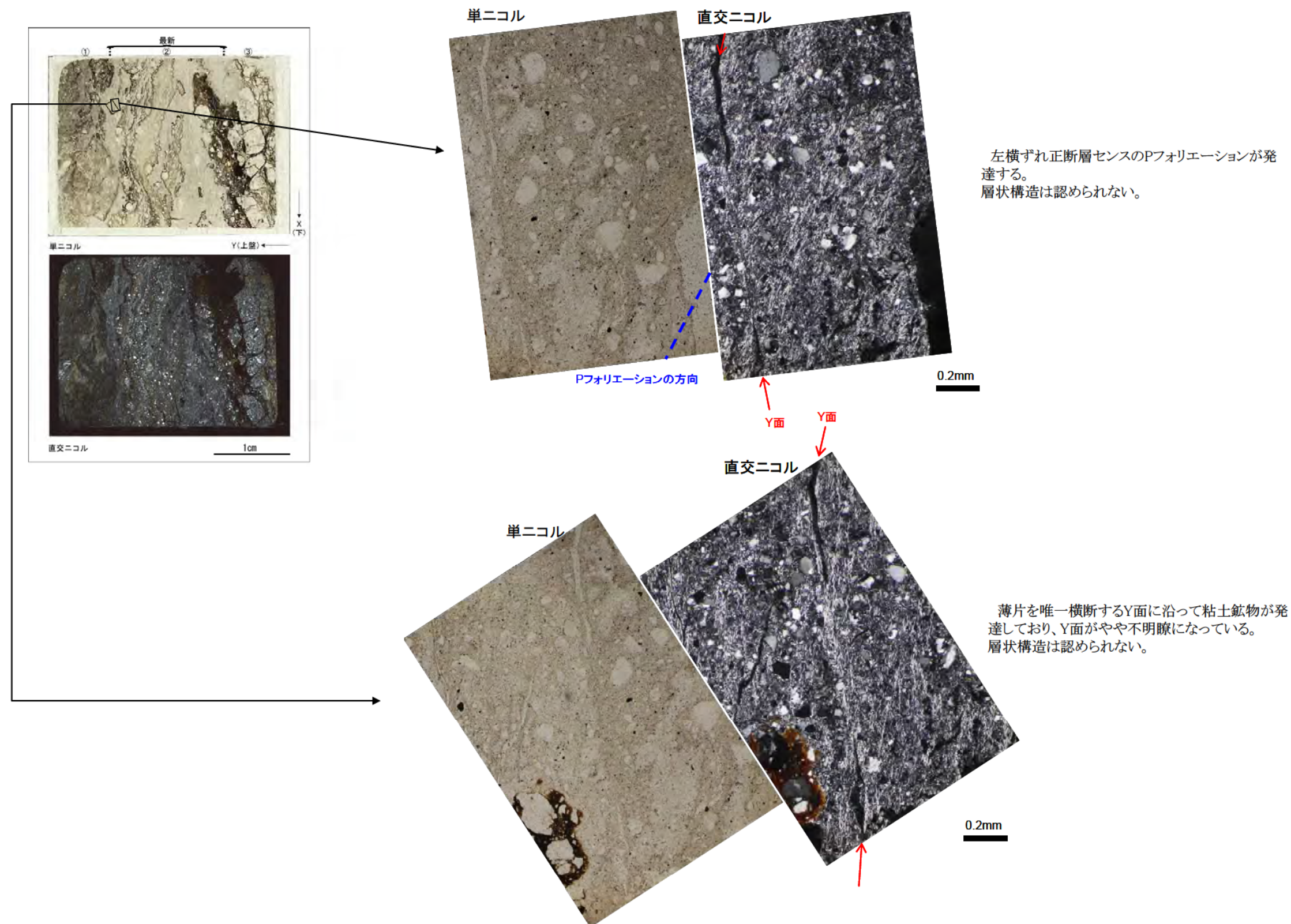


第 1. 3. 150 図 敦賀断層南端付近 大谷山南西方の破碎部 ブロック試料の C T 画像観察結果及び条線観察結果 (Loc. Tt-7)



研磨片観察結果

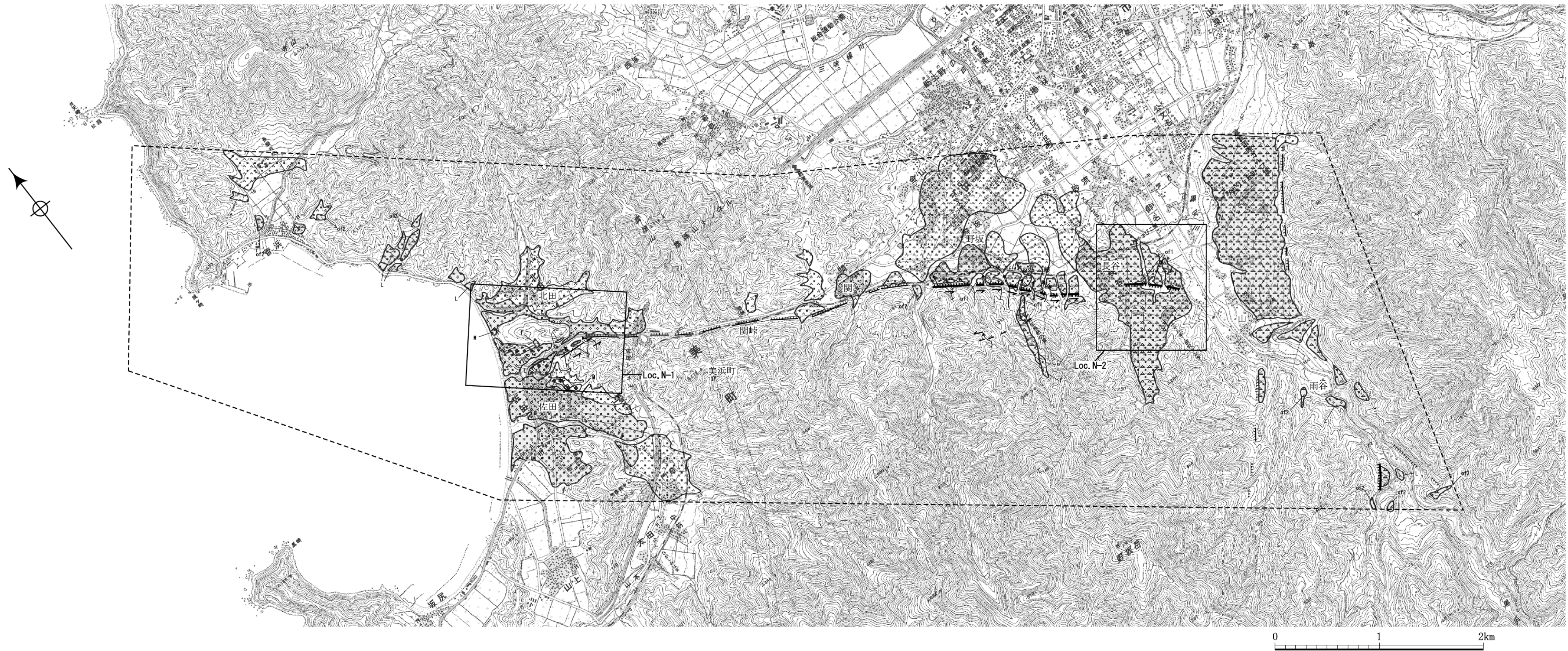
- ・分帯: 研磨片中にはカタクレーサイトや変質カタクレーサイト、カタクレーサイト～ウルトラカタクレーサイトが認められる。変質カタクレーサイトは熱水活動に起因する粘土鉱物が顕著である。
- ・研磨片左側のカタクレーサイトとカタクレーサイト～ウルトラカタクレーサイトの境界部付近にミ型の雁行配列を示すY面が認められる。この雁行配列を示すY面以外にも微小なY面が認められる。
- ・左横ずれ正断層センスを示す変形指標が顕著に認められる。



薄片観察結果

- ・分帯: ①中～粗粒カタクレサイト(研磨片中のカタクレサイト)、②細～中粒カタクレサイト(最新、研磨片中のカタクレサイト～ウルトラカタクレサイト)、③粗粒変質カタクレサイト(研磨片中的変質カタクレサイト)
- ・分帯はテクスチャーに基づく。薄片中には全体的に不透明鉱物が発達しており、特に②と③の境界部や中～粗粒フラグメント周辺で顕著であることから、粗いフラグメント周辺は水の移動経路になりやすいと考えられる。
- ・薄片を横断するY面が①と②境界部近傍の②中に1条認められる。このY面は薄片下部で湾曲する。このY面に沿って粘土鉱物が発達しており、Y面がやや不明瞭になっている。さらに、この粘土鉱物は割れ目やフラグメントの周辺に発達し、特に中粒フラグメント周辺で発達する。このことから、断層活動後の水・岩石反応により、粘土鉱物が発達したと考えられる。薄片中央部にもY面が認められるが、薄片下部で途切れる。薄片全体やY面に沿って左横ずれ正断層センスの変形指標が発達する。
- ・①: フラグメントは主に石英とセリサイトからなる。一部の石英はポリクウォーツ化している。マトリックスは細粒なフラグメントからなり、軽微に変質・粘土化している。
- ・②: フラグメントは主に石英からなる。一部の石英はポリクウォーツ化している。マトリックスは細粒なフラグメントからなり、軽微に変質・粘土化している。
- ・③: フラグメントは主に石英からなり、一部でセリサイトを含む。ポリクウォーツ化が顕著であり、ポリクウォーツが破碎している。マトリックスの変質・粘土化が激しい。

第 1. 3. 152 図 敦賀断層南端付近 大谷山南西方の破碎部 ブロック試料の薄片観察結果 (Loc. Tt-7)



地形面の凡例	
	新期扇状地面
	古期扇状地面2
	古期扇状地面1
	河成低位段丘面
	河成中位段丘面
	河成高位段丘面

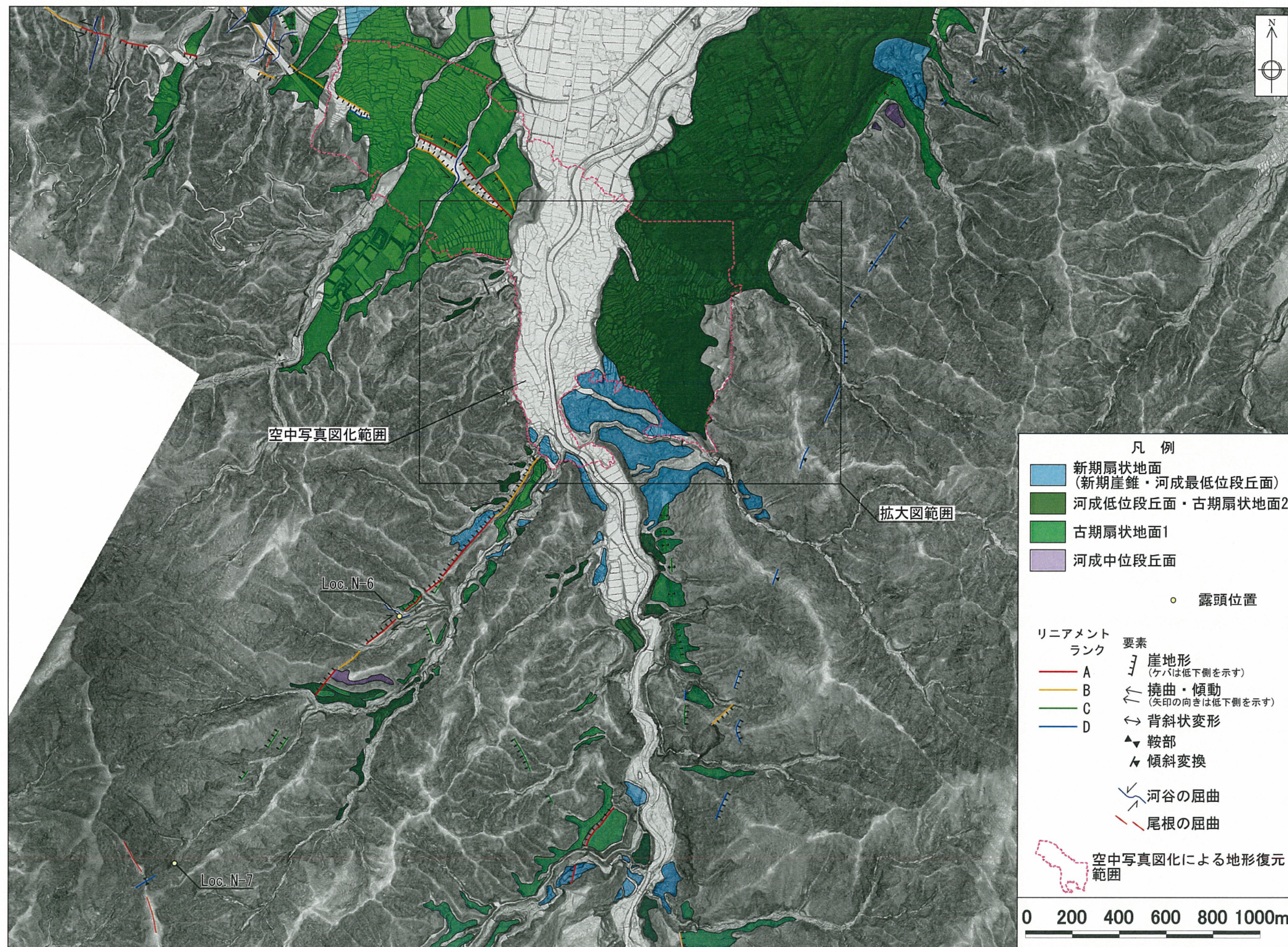
変動地形・リニアメントの凡例	
	Bランク
	Cランク
	Dランク
短線は低い側を示す。矢印は尾根、谷の屈曲方向を示す。 短線がないリニアメントは両側で高度の不連続が認められないもの。	
	屈曲した谷線
	表示範囲

「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の
数値地図25000（地図画像）を複製したものである。
（承認番号 平28情複，第16号）」

第1.3.153図 野坂断層周辺陸域の地形調査結果



第1.3.154図 野坂断層 佐田付近の段丘面高度分布図 (Loc. N-1)



第1. 3. 155図(1) 野坂断層南端付近 航空レーザー測量により作成した地形図(1)
6-1-501